



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ
コード番号 7506 URL <http://www.houseofrose.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

(氏名) 神野 晴年
(氏名) 桑野 純也

TEL 03-5114-5800

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	10,906	△0.4	460	△6.3	467	△6.0	247	△27.3
24年3月期第3四半期	10,950	1.1	491	△8.9	497	△9.4	340	16.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	52.59	—
24年3月期第3四半期	72.38	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
25年3月期第3四半期	9,278		5,612		60.5	1,193.55
24年3月期	8,833		5,549		62.8	1,180.06

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 5,612百万円 24年3月期 5,549百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年3月期	—	20.00	—		
25年3月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,700	1.8	620	3.3	620	0.9	340	△8.5	72.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	4,703,063 株	24年3月期	4,703,063 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	448 株	24年3月期	422 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	4,702,615 株	24年3月期3Q	4,702,667 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期報告書に対するレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	
第3四半期累計期間	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当四半期における国内景気は、世界景気の減速等を背景に弱い動きとなり、企業収益も製造業を中心として弱含みにて推移いたしました。一方、政権交代を契機に景気回復への期待感から株価は上昇し、外国為替相場も円安方向に推移する等、公共事業関係や輸出産業を中心に明るい兆しも見えてまいりました。ただし個人消費につきましては、物価上昇への懸念や雇用、所得環境の低迷が続いていること等から消費者マインドの盛り上がりには欠け、小売業界は総じて厳しい経営環境が続きました。

(直営店商品販売事業)

主力事業であるハウス オブ ローゼ化粧品販売事業では今期、「千客再来(せんきゃくさいらい)」のスローガンの下、新規顧客様の既存客化並びにリピート購入の促進を図っております。当四半期累計期間でみた既存客数は、前年同期比で1.3%増加、既存客売上高につきましては、専門店店舗が前年同期比で微減となったものの百貨店店舗は微増し、お買上単価も上昇いたしました。一方、新規顧客様につきましては前期、広告宣伝の寄与等により大幅に増加した反動もあり、新規顧客数は全店で前年同期比5.6%減少、売上高も6.1%の減少となりました。その結果、ハウス オブ ローゼ直営店舗売上高は、前年同期比で2.0%の減少となりましたが、売上高につきましては第2四半期までに比べ回復傾向にあり、それに伴い当事業利益も持ち直してまいりました。

他の直営店商品販売事業を加えた当事業全体の売上高は、87億71百万円(前年同期比1.6%減)となりました。また、育成途上にある海外ブランド化粧品販売店舗にかかる費用負担や諸経費増加の影響もあり、営業利益は2億51百万円(前年同期比26.3%減)となりました。

(直営店サービス事業)

リフレクソロジー事業は、新規顧客様の既存客化を進展したことにより客単価が向上いたしました。売上高は10~11月は前年同月を下回りましたが、クリスマスキャンペーン等の施策が功奏し12月売上高は前年同月比で6.0%増加となりました。また11月に1店舗出店したこともあり四半期累計売上高は、前年同期比2.6%の増加となりました。

カーブス事業は、冬季に退会者が増加する傾向があり、12月からサービス強化期間として退会者の抑制に注力いたしました。当四半期末の既存店における会員数は第2四半期末に比べ微減となりました。一方、10月には1店舗の新規出店を行い積極的に新規会員獲得を図ったため総会員数は増加、四半期累計売上高は、前年同期比19.2%増となりました。

その結果、当事業の売上高は12億55百万円(前年同期比6.3%増)、営業利益は、売上増加に伴う原価率の低減も寄与し1億44百万円(前年同期比74.3%増)と大きく増加となりました。

(卸売販売事業)

ハウス オブ ローゼショップ及びコーナー向け卸売上高は、個人オーナーショップ向け売上高が減少したものの量販店コーナー向け売上高が伸長し、トータルでは前年同期比2.1%の増加となりました。一般卸売上高は、通販事業者向け需要の増加に加え期間限定の催事等へのスポット売上が増加したこと等により前年同期比で15.5%増加となりました。

その結果、当事業売上高は8億79百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は64百万円(前年同期比3.5%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における全社売上高は109億6百万円(前年同期比0.4%減)となりました。売上原価率は微減傾向で推移し、経費面では一般経費の削減を積極的に実施してまいりましたが、情報基幹システムの再編に伴うリース料の増加等もあり、販売管理費一般管理費合計は前年同期より微増となり、その結果営業利益は4億60百万円(前年同期比6.3%減)、経常利益4億67百万円(前年同期比6.0%減)、当四半期純利益は2億47百万円となりました。前年度は旧物流センター土地売却益1億52百万円の特別利益がありましたので、前年同期比では27.3%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より4億44百万円増加し、92億78百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より2億48百万円増加し、54億25百万円となりました。これは主に売掛金4億22百万円の増加によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より1億96百万円増加し、38億52百万円となりました。これは主にリース資産1億75百万円の増加によるものであります。

負債合計は、前事業年度末より3億81百万円増加し、36億65百万円となりました。これは主に短期借入金3億50百万円の増加によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末より63百万円増加し、56億12百万円となりました。これは主に利益剰余金が59百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、前回発表(平成24年11月2日決算短信)に記載の業績予想に変更はありません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,466,488	1,995,899
売掛金	1,002,792	1,424,940
商品及び製品	1,582,278	1,912,989
その他	126,054	91,931
流動資産合計	5,177,614	5,425,761
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	458,967	445,484
土地	1,415,905	1,415,905
リース資産（純額）	27,070	86,432
有形固定資産合計	1,901,943	1,947,822
無形固定資産	109,444	226,045
投資その他の資産		
差入保証金	858,576	869,435
その他	785,753	808,971
投資その他の資産合計	1,644,330	1,678,407
固定資産合計	3,655,718	3,852,276
資産合計	8,833,332	9,278,037
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,377,290	1,626,260
短期借入金	—	350,000
1年内返済予定の長期借入金	45,790	8,260
未払法人税等	232,611	—
賞与引当金	198,588	53,000
その他	534,894	535,894
流動負債合計	2,389,173	2,573,415
固定負債		
退職給付引当金	642,109	685,429
役員退職慰労引当金	146,838	147,538
その他	105,802	258,862
固定負債合計	894,749	1,091,829
負債合計	3,283,923	3,665,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	934,682	934,682
資本剰余金	1,282,222	1,282,222
利益剰余金	4,326,575	4,385,792
自己株式	△395	△428
株主資本合計	6,543,083	6,602,267
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,443	6,641
土地再評価差額金	△996,116	△996,116
評価・換算差額等合計	△993,673	△989,475
純資産合計	5,549,409	5,612,792
負債純資産合計	8,833,332	9,278,037

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	10,950,014	10,906,452
売上原価	3,102,668	3,072,068
売上総利益	7,847,345	7,834,384
販売費及び一般管理費	7,356,282	7,374,214
営業利益	491,063	460,169
営業外収益		
受取利息	3,765	3,157
受取配当金	1,936	2,077
不動産賃貸料	1,647	1,400
その他	2,206	3,550
営業外収益合計	9,556	10,185
営業外費用		
支払利息	2,019	1,748
不動産賃貸原価	860	783
営業外費用合計	2,880	2,531
経常利益	497,739	467,823
特別利益		
固定資産売却益	152,396	—
特別利益合計	152,396	—
税引前四半期純利益	650,135	467,823
法人税、住民税及び事業税	168,686	145,926
法人税等調整額	141,083	74,575
法人税等合計	309,770	220,501
四半期純利益	340,365	247,322

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。